60th ANNIVERSARY

設立60周年記念誌

環境技術株式会社

環境、社会は
人と人との支えあい

快適な環境を守り続けて、おかげさまで60周年。

積み重ねた経験と技術に磨きを掛け、地域社会に貢献して60年。

人と人とのつながりを大切に、支えあって60年。

住み良い地域環境の未来を真摯な目で見つめる

それが、私たち **環境技術株式会社** です。

社　訓

信　用

礼　節

協　調

環境技術株式会社ロゴマーク

八戸の“八”をイメージした輪の中で人と人が支えあう。
そんな想いが込められています。

満60周年を迎えて

会社設立から満60年を迎えました。

思い起こすと昭和37年5月4日に合資会社八戸便利社として資本金12万円、社員数10名、年間売上300万円にも満たない小さな会社から発足いたしました。事業は煙突掃除、ツマリ直し、引越しのお手伝い、清掃、ごみ運搬など、人々の生活の中の困りごとの解決を目的としたものでありました。それらのサービスを基として、引越業務のために一般区域貨物運送業の認可を取得し、また、清掃関連業務として浄化槽の維持管理、廃油処理施設の運営や油槽タンクの清掃などを事業展開し、そして、廃棄物処理業務として産業廃棄物最終処分場や中間処理施設を設置するなど、環境整備に係る事業を主体として当社は発展して参りました。

現在では資本金4,800万円、社員数110名、年間売上高12億円～ 13億円、車両・重機130台、総資産265千万円を有する企業に発展することができました。平成11年5月には組織変更により、現社名の「環境技術株式会社」に社名変更いたしました。60周年を迎えることができたのも創業社長浅香節夫、二代目社長石鉢芳雄を始めとして、当社のために働き貢献した役員・社員、そしてお得意様、仕入先、お取引先の皆々様のおかげであります。「おかげ様で60年」「皆んなに支えられて60年」本当にありがとうございました。

60周年を一つの節目として今後も会社のモットー「社会への貢献」、そして社訓の「信用」「礼節」「協調」をテーマとして事業経営を進めると共に、社員の生活の安定・安心、そして安全を心掛けて会社の永続性を図り、継続発展に努めて参る所存であります。

これから100周年を目指して、そのため経営の合理化、人材の育成、設備の充実や効率化などを図って参ります。

今後とも、皆々様には温かいご支援とご協力を心からお願いいたしまして、ご挨拶とします。

代表取締役社長

倉成　諭



設立60年の歩み 1956→1973

会社沿革

1956 昭和31年

馬場町に八戸煙突清掃社（個人）として創業

設立 1962 昭和37年

【10月】本社及び車庫移転（右水門下）

【5月】合資会社八戸便利社として設立
初代社長に浅香節夫が就任

1966 昭和41年

【11月】新社屋落成並びに本社所在地変更（城下）

【7月】一般貨物運送事業開始

【5月】**創業10周年**

1969 昭和44年

【12月】浄化槽清掃管理業開始

設立10周年 1972 昭和47年

【4月】一般廃棄物処理業開始（収集運搬）

1973 昭和48年



初代社長
浅香 節夫



創業10周年式典



新社屋（城下時代）

■青森県トラック協会に入会

■様々な作業依頼を受け、引越や簡易運搬なども行う



若かりし頃の初代、
二代目、三代目が揃う貴重な写真



社内のお花見会



右水門下事務所前にて



社員旅行で常磐ハワイアンセンターへ

当時の様子 **若さと勢いで走り回った創業当時**
駐留米軍家族の住まいの水回りトラブル修理などを行う

当時の様子 **この時代、学校の暖房は薪ストーブ**
学校の煙突掃除を請け負う

出来事

八戸市＆世の中の出来事

【1973年】
第一次オイルショック

【1973年3月】
馬淵大橋開通

【1972年12月】
国道45号八戸バイパス開通

【1970年12月】
八戸臨海鉄道（株）開業

【1969年12月】
長根公園スピードスケートリンク完成

【1968年5月】
十勝沖地震発生、津波襲来
八戸漁港水揚げ量連続3年日本一

【1966年】
八戸漁港水揚げ量日本一（25万3千トン）

【1966年4月】
三菱製紙（株）八戸市に八戸工場を新設

【1964年10月】
東京オリンピック開催

【1964年5月】
八戸市が新産業都市に指定

【1961年5月】
白銀町大火、1043棟焼失

【1960年5月】
チリ地震、津波襲来

【1959年8月】
市営第二魚市場開設

【1958年6月】
東北地方初の火力発電所操業

【1957年3月】
海上自衛隊八戸航空隊開隊

【1956年5月】
陸上自衛隊八戸駐屯地開設

設立60年の歩み 1974→1985

会社沿革

1974 昭和49年
【12月】産業廃棄物処理業開始（収集運搬）

1976 昭和51年
【5月】創業20周年

1978 昭和53年

1979 昭和54年
【4月】油槽清掃業及び廃油処理業（再生）開始



廃油処理施設

1980 昭和55年

1981 昭和56年
【10月】新社屋落成ならびに本社所在地変更（現在地）

1982 昭和57年
設立20周年

1984 昭和59年

1985 昭和60年
【9月】産業廃棄物最終処分場取得（管理型）

出来事

1974 昭和49年
■八戸市一般廃棄物処理業者連絡協議会設立加盟参加

1975 昭和50年
■むつ小川原メンテナンス（株）で基地内タンク検査工事着工

1976 昭和51年
■むつ小川原メンテナンス（株）設立に加盟参加

1977 昭和52年
■八戸地区環境衛生協会設立（後の八浄協）加盟参加

1978 昭和53年
■八戸市内外で小型車による引越業務がピーク


社員数とともに車両台数も増加


城下時代、社内にて


新社屋が現在の河原木に


新年会


初代社長夫婦

八戸市&世の中の出来事

【1974年12月】
むつ小川原石油備蓄（株）六ヶ所事業所貯蔵基地施設全面完成

【1975年5月】
八戸市公会堂開館

【1975年3月】
市営第三魚市場開設

【1976年】
八戸港臨港道路（八戸大橋）開通

【1977年1月】
第32回国民体育大会冬季大会スケート競技会「あすなろ国体」

【1977年11月】
八戸市中央卸売市場開設

【1978年】
八戸漁港水揚げ量日本一（75万2千トン）

【1979年】
八戸市制施行50周年

【1979年11月】
根城大橋開通

【1980年4月】
青森県産業廃棄物協会設立

【1980年6月】
むつ小川原石油備蓄（株）六ヶ所事業所開設

【1980年11月】
八戸市庁新館（現在の本館）完成

【1982年12月】
水揚げ金額八戸漁港史上最高を記録（933億円）

【1983年7月】
ファミリーコンピューター発売

【1984年5月】
新井田インドアリンク完成

【1984年12月】
国道45号八戸北バイパス開通

【1985年9月】
むつ小川原石油備蓄（株）六ヶ所事業所貯蔵基地施設全面完成

1986 → 1996

60th ANNIVERSARY

1986 昭和61年

【5月】**創業30周年**



創業30周年記念祝賀会

1987 昭和62年

1988 昭和63年

1990 平成2年

1991 平成3年

【7月】産業廃棄物最終処理場（管理型・安定型…規模未満）設置

1992 平成4年

設立30周年

【11月】産業廃棄物焼却炉新設（1号炉）



産業廃棄物焼却炉〈1号炉〉

1993 平成5年

1994 平成6年

【6月】計量証明事業開始

八戸市からの要請を受け各避難所に給水車を配備する
（災害時の緊急要請に対応）

1996 平成8年

【5月】**創業40周年**

八戸地域浄化清掃事業協同組合設立加盟参加

青森県産業廃棄物協会入会
（現在の青森県産業資源循環協会）



平成元年新年会



最終処分場〈管理型〉



阿佐香別亭にて社員歓送迎会



社員旅行でグアムへ

ピックアップ

「計量証明事業」
水質・土壌・大気の行方に厳しい責任を持ち、維持・管理・検査する

【1995年】
Windows95が発売
インターネットの急激な普及

【1995年3月20日】
地下鉄サリン事件

【1995年1月17日】
阪神・淡路大震災発生

【1994年12月28日】
三陸はるか沖地震発生

【1993年8月1日】
八戸市、米国ワシントン州フェデラルウェイ市と姉妹都市提携

【1993年2月15日】
八戸地方拠点都市地域に指定

【1992年9月】
宇宙飛行士 毛利衛さん
米スペースシャトルで宇宙へ

【1992年】
八戸インテリジェントプラザ完成
八戸地域地場産業振興センター「ユートリー」完成

【1991年】
八戸ハイテクパーク完成

【1991年】
馬淵川浄化センター供用開始

【1991年1月17日】
湾岸戦争勃発

【1989年11月9日】
ベルリンの壁崩壊

【1989年】
八戸市水産科学館「マリエント」完成

【1987年】
八戸市東体育館完成

【1986年11月】
東北縦貫自動車道八戸線開通
（一戸～八戸間）

【1986年4月26日】
チェルノブイリ原子力発電所事故

設立60年の歩み 1997→2012

会社沿革

1997 平成9年
【3月】汚泥脱水処理施設設置

1999 平成11年
【5月】組織変更により社名を『**環境技術株式会社**』にする

2002 平成14年 設立40周年
【8月】産業廃棄物焼却炉（2号炉）増設

2006 平成18年
【5月】**創業50周年**
【10月】二代目社長に「石鉢 芳雄」就任



二代目社長
石鉢 芳雄

2009 平成21年

2010 平成22年
【4月】破砕施設用テントハウス設置
【5月】三代目社長に「倉成 諭」就任



三代目社長
倉成 諭

2011 平成23年
【3月】東日本大震災により被害を受ける
【3月】一般建設業取得



50周年記念式典

2012 平成24年 設立50周年
【4月】本社駐車場全面舗装整備工事
【5月】**会社設立50周年**



汚泥脱水処理施設

■**八戸圏域水道企業団より給水車出動要請受ける**
（再び災害時の緊急要請に対応）



産業廃棄物焼却炉〈2号炉〉



給水車





（上）破砕施設用テントハウス
（下）破砕機

■**行政・民間より洗浄、清掃、がれき処理など要請受ける**



現場で津波により被災した車両の一部（けが人なし）



本社駐車場全景

出来事

【2011年7月】地上デジタル放送へ移行
【2011年3月11日】**東日本大震災発生**
【2011年2月】八戸ポータルミュージアムはっち開館
【2010年12月】東北新幹線新青森駅開業
【2009年5月】**八戸市制施行80周年**
【2009年3月】八戸市博物館所蔵の「合掌土偶」が国宝指定に答申
【2009年1月】米大統領にオバマ氏就任
【2009年1月1日～6日】**八戸市で大規模断水発生**
【2007年4月】グレットタワーみなとが完成
【2005年3月】八戸市と南郷村が合併し「新生・八戸市」が誕生
【2002年12月】東北新幹線八戸駅開業
【1998年4月】八戸港貿易センター及び八戸港国際物流ターミナルの開業
【1998年2月】八戸市庁舎別館完成
【1997年】トヨタ・プリウス発売
京都議定書が議決
【1997年9月】新市民病院完成
【1997年4月】ポートアイランド一部供用開始

八戸市＆世の中の出来事

2013→2023

60th ANNIVERSARY

2013
平成25年

2016
平成28年

【5月】創業60周年

【6月】産廃部事務所（計量棟）建替え

2017
平成29年

【3月】エコアクション21認証登録

あおもりECOにこオフィス認定

2018
平成30年

【1月】「ユニ・ソイル」エコマーク商品認定

2021
令和3年

【3月】環境保全部、油槽部資機材倉庫新築

2022
設立60周年

令和4年

【5月】会社設立60周年

2023
令和5年

【2月】車庫、タイヤ保管倉庫着工

【4月】満60周年

2026
令和8年

【5月】創業70周年



産廃部事務所（計量棟）



資機材倉庫外観



車庫、タイヤ保管倉庫新築地鎮祭



これからも皆んなの力で

■ 環境への取り組み（SDGs）



エコアクション21認証・登録



あおもりECOにこオフィス認定



埋戻材「ユニ・ソイル」エコマーク商品認定

■ 地域貢献



「ヴァンラーレ八戸FC」とオフィシャルパートナー契約（2017～継続中）

私たちはヴァンラーレ八戸を応援しています！
VANRAURE
環境技術株式会社

【2023年3月】
WBCで日本代表「侍ジャパン」優勝

【2022年9月】
「チーノはちのへ」閉店

【2022年4月】
「三春屋」閉店

【2021年11月】
八戸市美術館リニューアルオープン

【2021年7月】
北海道・北東北の縄文遺跡群
世界遺産に登録

【2021年7月】
東京2020 オリンピック
1年延期で開催

【2020年4月】
「フラット八戸」オープン

【2020年】
新型コロナウィルス感染症流行

【2019年9月】
長根屋内スケート場
「YSアリーナ八戸」オープン

【2017年】
八太郎3号ふ頭フェリー専用岸壁
（第2バース）供用開始

【2017年1月】
米大統領にトランプ氏就任

【2015年4月】
液化天然ガス（LNG）輸入基地
八戸LNGターミナル操業開始

【2013年5月】
種差海岸が
三陸復興国立公園に指定

【2013年5月】
東京スカイツリーオープン

会社概要 Company Overview

会社名	環境技術株式会社
創立年月	昭和31年5月（個人経営として発足）
資本金	4,800万円
法人設立登記	昭和37年5月4日
事業年度	毎年5月1日より翌年4月30日まで

営業種目

1. 一般貨物自動車運送事業
2. 浄化槽清掃管理業
3. 浄化槽施工排水工事
4. 貯水槽清掃管理及び塗装業
5. 一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬処理処分業
6. 油槽清掃業及び廃油収集処理業
7. 廃油処理の過程で採集する再生油の販売業
8. 空調設備保守管理及びエアーフィルター販売業
9. 管渠及び都市下水路清掃業
10. 環境計量証明事業
11. 古物商の経営
12. 一般建設業
13. 上記各号に付帯関連する一切の事業

所在地	【本　社】 八戸市八太郎六丁目12番4号 【処分場】 八戸市大字尻内町字下毛合清水1-4、1-29
関連会社	有限会社東北ビル綜合管理 東北ビルサービス株式会社

車両保有台数

ダンプ車（2.4.10t）	19台
ライトバン（管理・営業用）	25台
パッカー車	7台
強力吸引車	16台
バキューム・ダンパ車	12台
超高圧洗浄車	6台
ユニック車	5台
ローリー車	8台
特殊車両車	6台
その他トラック	10台
重機車両	22台
	計 136台

役員

代表取締役	倉成　諭
専務取締役	大南　力
取締役	石鉢哲司
取締役	林　敏次
取締役	浅香拓也
取締役	澤井　勉
会計参与	倉成　磨

従業員（役員除く）

男101名、女12名、合計113名

会社沿革 History

1962	昭和37年 5月	合資会社八戸便利社として設立（昭和31年馬場町に個人開業） 初代社長に浅香節夫が就任 資本金12万円
	10月	本社および車庫移転（右水門下）
1966	昭和41年 5月	会社創業10周年
	7月	一般貨物自動車運送事業認可取得
	11月	新社屋落成ならびに本社所在地変更（城下）
1969	昭和44年 12月	浄化槽清掃管理業開始
1972	昭和47年 4月	一般廃棄物処理業開始（収集運搬）
1974	昭和49年 12月	産業廃棄物処理業開始（収集運搬）
1979	昭和54年 4月	油槽清掃業及び廃油処理業（再生）開始
1981	昭和56年 10月	新社屋落成ならびに本社所在地変更（現在地）
1985	昭和60年 9月	産業廃棄物最終処分場取得（管理型）
1986	昭和61年 4月	会社創業30周年
1991	平成3年 7月	産業廃棄物最終処分場（管理型・安定型…規模未満）設置
1992	平成4年 11月	産業廃棄物焼却炉新設（1号炉）
1994	平成6年 6月	計量証明事業開始
1997	平成9年 3月	汚泥脱水処理施設設置
1999	平成11年 5月	組織変更により社名を環境技術株式会社にする 資本金4,800万円に増資
2002	平成14年 8月	産業廃棄物焼却炉増設（2号炉）
2006	平成18年 10月	二代目社長に石鉢芳雄就任
2010	平成22年 4月	破砕施設用テントハウス設置
	5月	三代目社長に倉成諭就任
2011	平成23年 3月	一般建設業取得
2012	平成24年 4月	本社駐車場全面舗装整備工事
	5月	会社設立50周年
2016	平成28年 6月	産廃部事務所（計量棟）建替え
2017	平成29年 3月	エコアクション21認証登録 あおもりECOにこオフィス事務所認定
2018	平成30年 1月	エコマーク商品認定（ユニ・ソイル）
2021	令和3年 3月	環境保全部、油槽部資機材倉庫新築
2022	令和4年 5月	会社設立60周年
2023	令和5年 2月	車庫、タイヤ保管倉庫着工
	4月	満60周年

業務内容 job description

総務部

- ■総務渉外一般
- ■会計・経理
- ■労務・人事管理
- ■資産管理

運輸部

- ■一般廃棄物収集・運搬（事務系、資源ごみ）
- ■八戸市委託の家庭ごみ収集（ユーネット八戸協同組合）
- ■産業廃棄物収集・運搬（青森県・岩手県内各事業所）
- ■産業廃棄物積込み運搬業務（三菱製紙（株）八戸工場内常駐業務）
- ■各種運搬業務（一般貨物自動車運送事業）
- ■八戸リサイクルプラザ運転管理（八戸広域廃棄物再利用事業協同組合）
- ■空調設備保守管理及びエアフィルターの販売



環境保全部

- ■浄化槽維持管理・清掃業務（一般家庭・事業所）
- ■汚泥運搬・処理（特殊吸泥車使用）
- ■管渠清掃（下水道施設）
- ■各種グリストラップ清掃
- ■ブロア修理・取付
- ■飲料水貯水清掃
- ■テレビカメラ車を使用した下水管路、排水管診断・調査
- ■路面清掃（ロードスイーパー車使用）



貯水槽清掃専用車

環境分析室

- ■計量証明事業（水質・土壌・大気・飲料水・その他）



管内検査TVカメラ調査専用車

油槽部

- ■貯油槽清掃業（地上・地下タンク）
- ■地下埋設タンク配管の漏洩検査
- ■工場・事業所各種清掃作業（高圧洗浄車他特殊車両使用）
- ■特別管理産業廃棄物収集・運搬（特管廃油）



超強力吸引車

製造部

- ■各種廃油回収
- ■再生油製造業（再生工場所有）
- ■産業廃棄物中間処理施設（油水分離）

六ヶ所事業所

- ■むつ小川原石油備蓄基地メンテナンス業務（むつ小川原メンテナンス㈱）
- ■産業廃棄物収集・運搬業務



六ヶ所村むつ小川原石油備蓄基地

産廃部

- ■産業廃棄物中間処理施設（脱水・焼却・中和・破砕・造粒固化）
- ■産業廃棄物最終処分場（管理型・安定型）



造粒固化施設（オデッサシステム）



環境技術株式会社

本 社　〒039-1168 青森県八戸市八太郎6丁目12−4
TEL 0178-20-2666　FAX 0178-20-3979